

# 火災予防って何だ！？



## 川越地区消防局

データは、全国のデータ 「消防白書」 (令和4年版) から

早速ですが皆さん！

**火災予防って  
なんでしょ？**

# 内容

- 事前の対策  
ヒューマンエラーをなくそう
- 事後の対策  
消防用設備を知ろう  
消防訓練を実施しよう

# 皆様方は

- 通所介護施設
- 就労継続支援施設
- 多機能型事業所
- 放課後等デイサービス
- 児童発達支援施設
- 保育園

(6) 項八



消防的には **(6) 項八** の用途  
**比較的災害弱者になりやすい**

## (6) 項八の用途で必要なこと

- ▶ 火気の管理（たばこ・コンロ・電気など）  
建物内及び建物周囲の見回り
- ▶ 火災に備えた管理  
防火管理者（責任者）を中心に  
避難経路の確認  
消火器などの消防設備の使用方法の確認  
消防訓練の実施

**火災予防**

# 過去の福祉施設の火災から

福祉施設などにおいて、**過去に大きな被害**を出している**火災はすべて夜間に発生**しています。

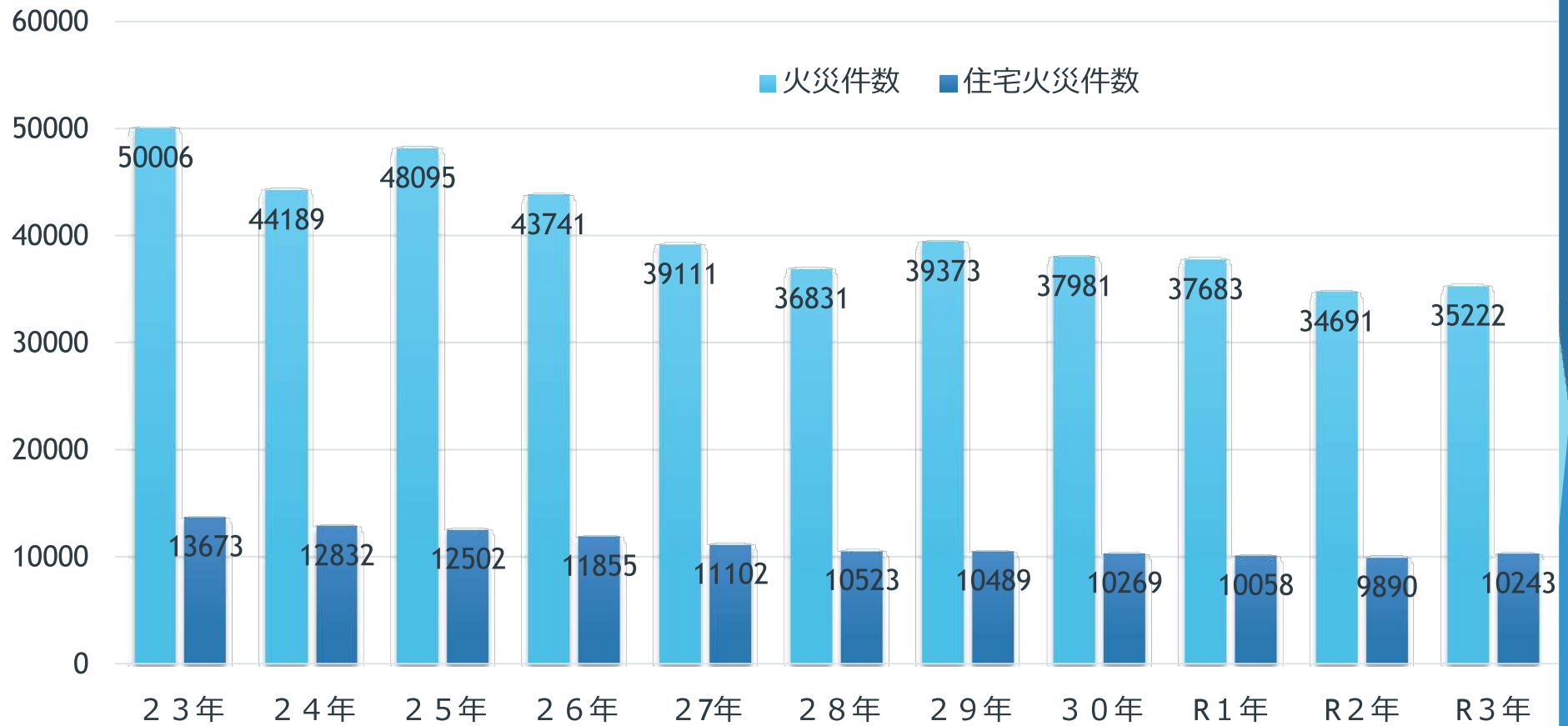
夜間だと、火災発生に出来ることに限界があります。

一番大切なこと：絶対に火災を発生させないこと

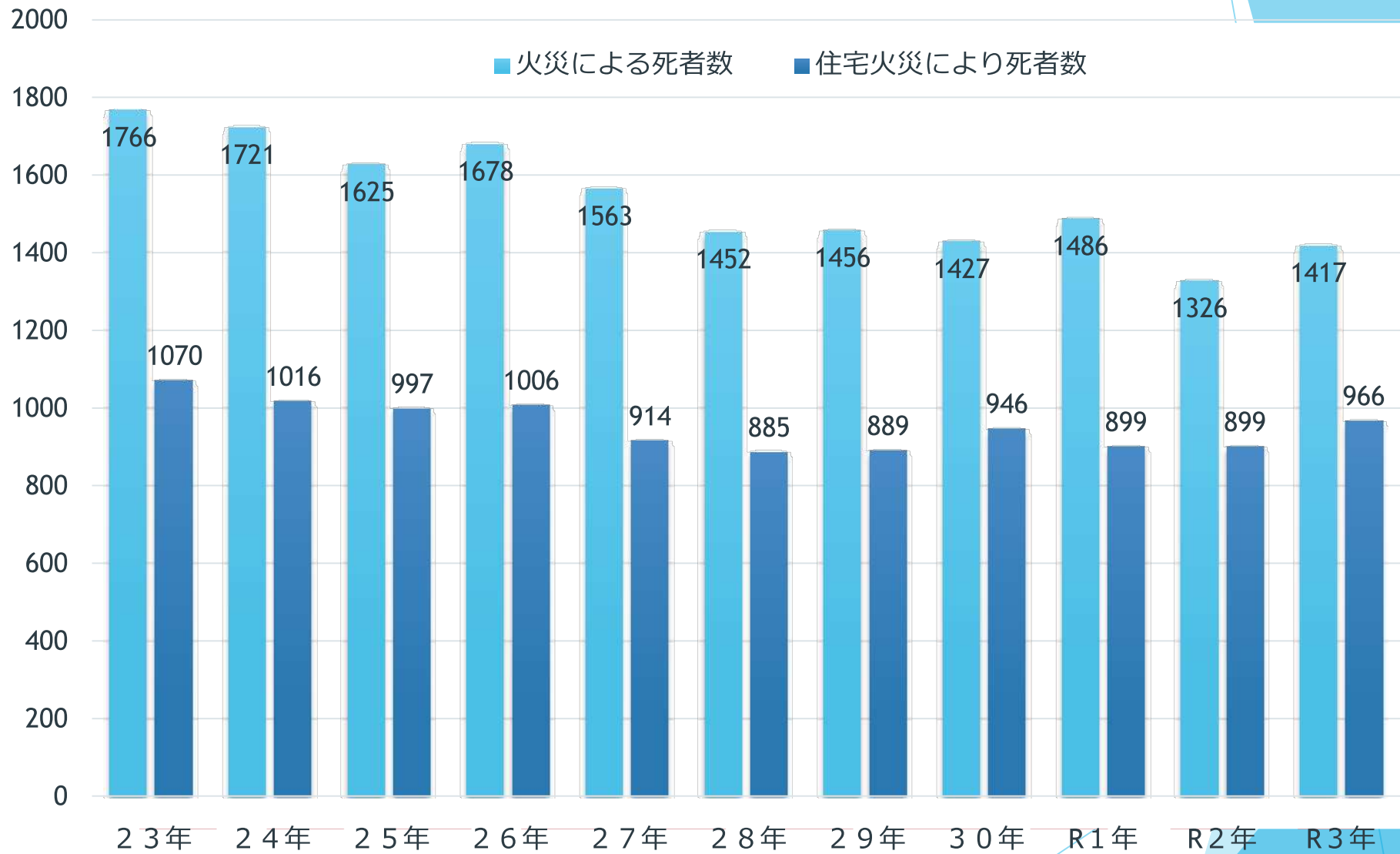
**「火災発生＝入所者の命の危機」**

を念頭に、適切な防火管理を行いましょう。

# 火災件数と住宅火災件数



# 火災による死者数と 住宅火災による死者数



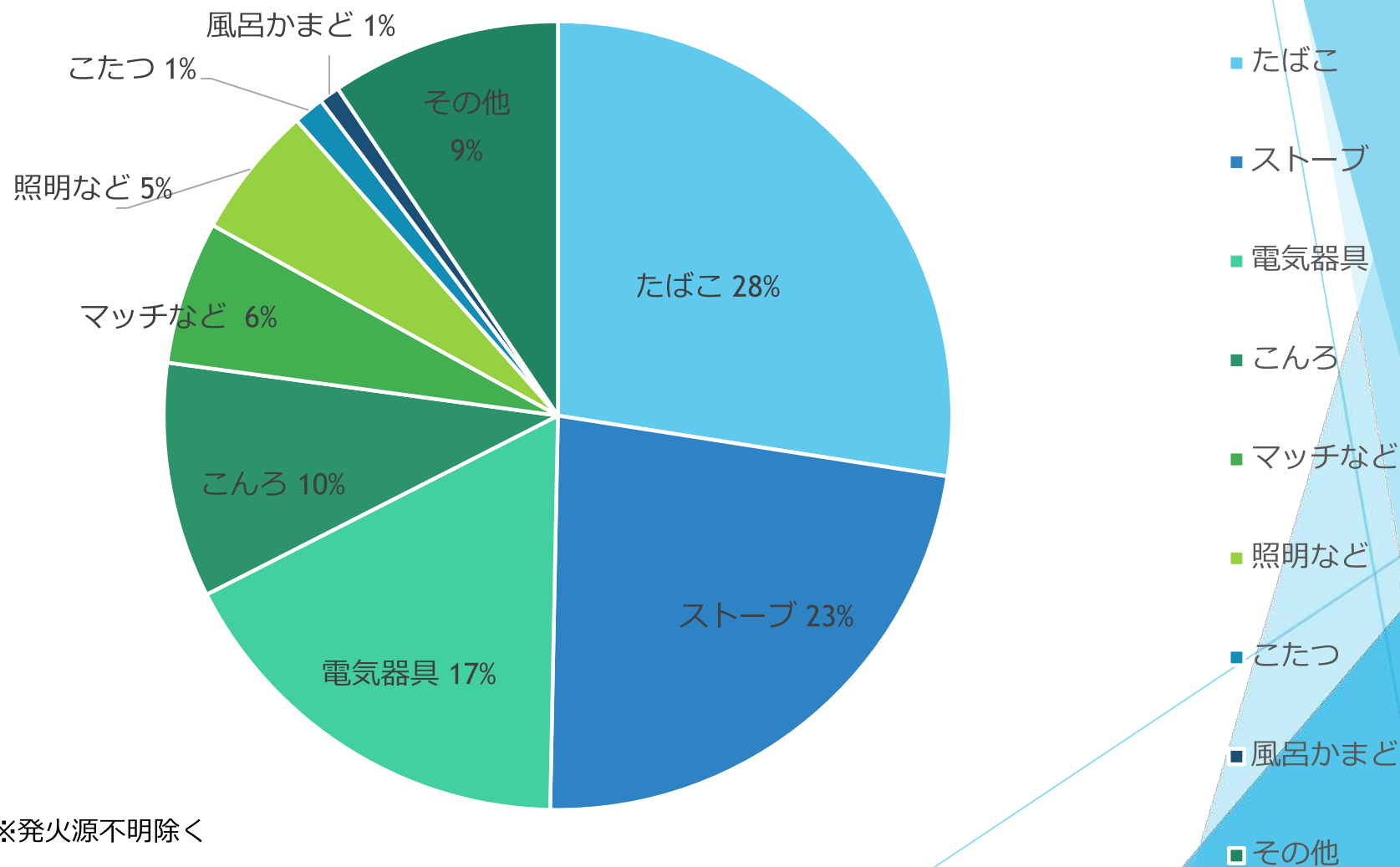


# 火災の原因は何だったんだろう？

## ～発火源別死者数～

(令和3年中)

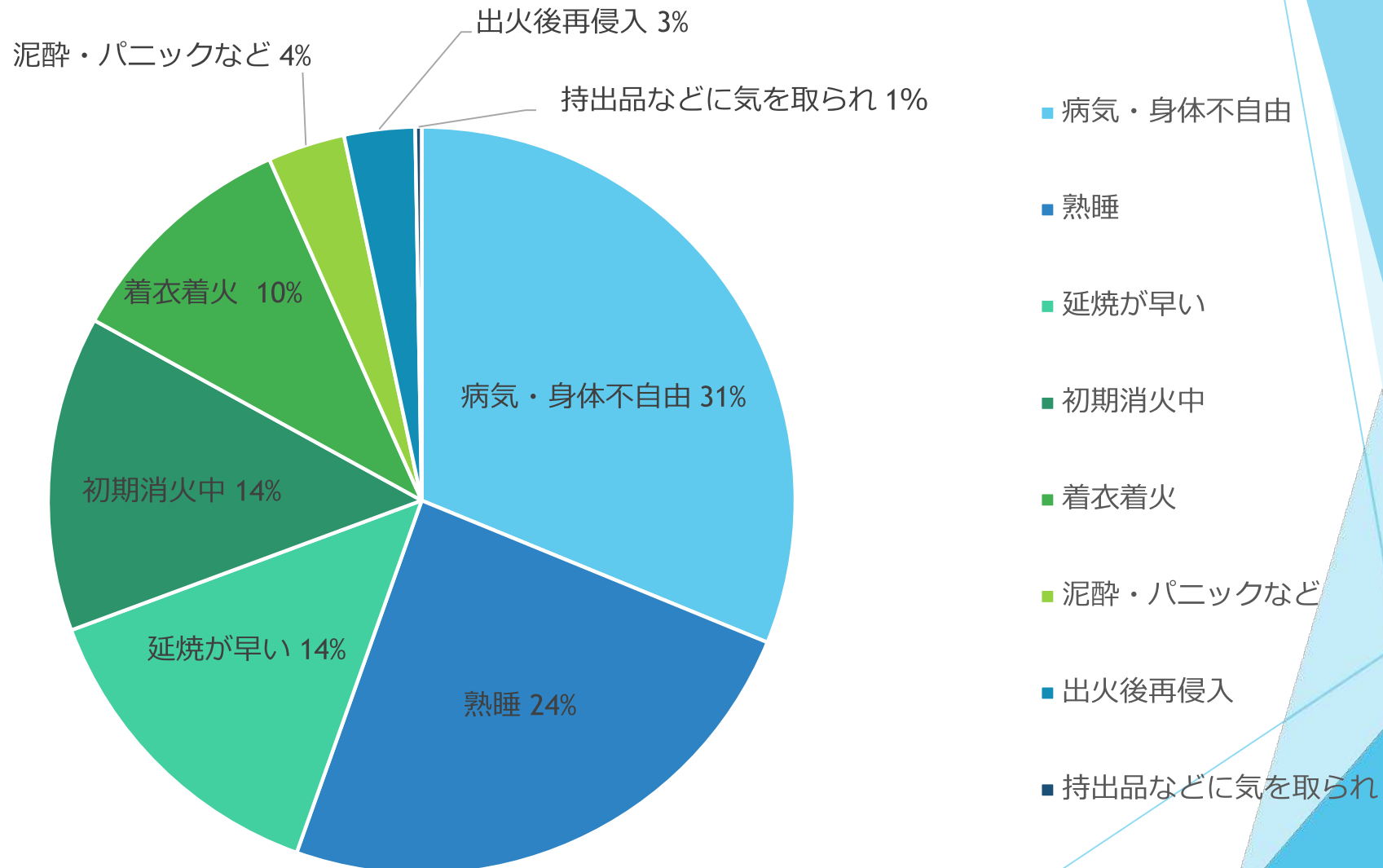
(放火自殺者等を除く)



# 火災で死に至った経過

(放火自殺者等を除く)

(令和3年中)



※住宅火災の死に至った経過別死者発生状況その他を除く（逃げ遅れ、着衣着火、出火後再侵入のみの死者数）

# 火災の原因の上位

たばこ    こんろ    電気    ストーブ

原因と対策について

お話をします

# 火災の原因はヒューマンエラー がほとんど！

ヒューマンエラーの原因を取り除くことができれば、**火災を未然に防**ぐことにつながる！！



コンロの原因で一番多いものは・・・

天ぷら油



**調理中は絶対に離れないこと！**

# たばこの管理

灰皿には  
水を入れておこう！

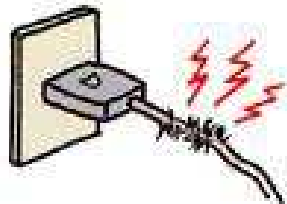
一番良いのは禁煙？

- 1 寝たばこはしない！
- 2 灰皿は吸殻が一杯になるまで使用しない！
- 3 吸殻はゴミ箱にそのまま捨てない！



## 電気の管理(近年火災原因増加傾向)

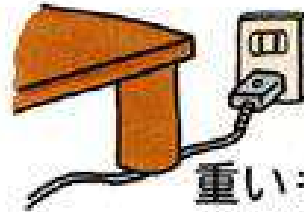
- 1 タコ足配線をしない
- 2 コードを束ねたり、重いものを載せない
- 3 傷んだコードは使用しない
- 4 ほこりをためない(定期的に清掃する)



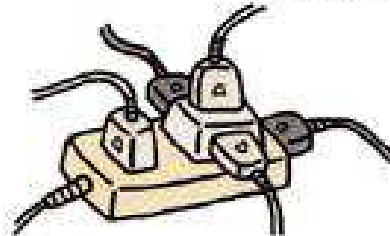
いたんだまま  
使用しない



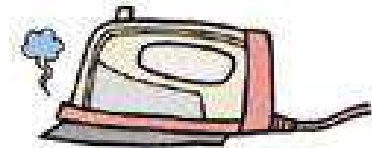
プラグにほこりを  
ためない



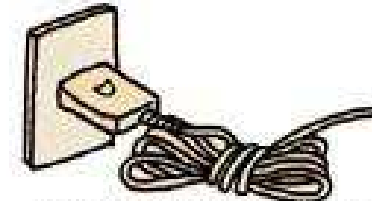
重いものを  
のせない



タコ足配線をしない



消してないよ!



コードをたばねない

# 放火防止対策（火災原因NO1）

- ① 建物の周りは整理・整頓をして、新聞や雑誌等の燃えやすいものを置かない。
- ② 夜間は絶対にゴミを捨てない！
- ③ 門扉、車庫、物置等は施錠する。  
etc…



# 死角を狙われる！！



# 火災が起きたら



# 煙の危険性



- 1 視界が悪くなり恐怖感が増大する
- 2 避難経路が断たれる
- 3 有毒ガスが発生する

一酸化炭素

血液中のヘモグロビンに  
結合して一気に酸素不足に！

# 人の歩く速度

1時間で4キロ歩くとして  
大体毎秒**1.0m**くらい  
上下毎秒**0.5m**くらい



毎秒**0.3~0.8m**で横方向へ  
毎秒 **3~5m**で縦方向へ



人の速度0.5 m/秒  
煙の速度3~5 m/秒

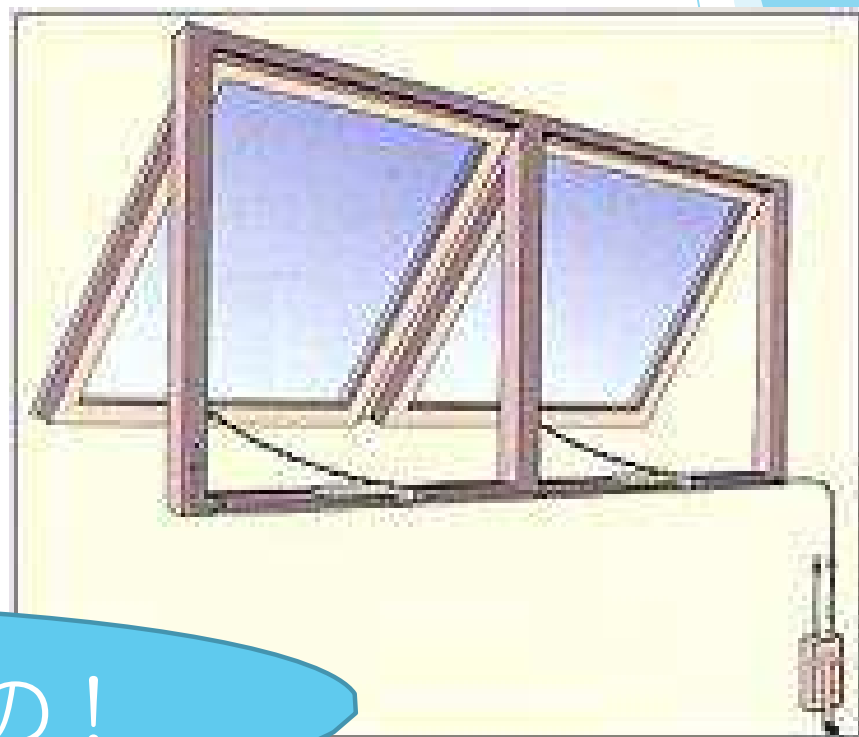


人の歩く速度 1.0m/秒  
煙の速度0.3~0.8 m/秒

# もしも煙に囲まれてしまったら・・・



- 1 姿勢を低くする
- 2 体の中に煙を入れないよう口を抑える
- 3 排煙設備を活用する
- 4 普段から避難口・避難経路を確認する習慣をつける（重要）



みなさんが使うもの！

排煙窓

# 消防用設備を知ろう

万が一火災が発生した場合  
心強い味方になるのが消防用設備です。  
普段から、使用方法と設置場所を  
知っておくことが大切です。

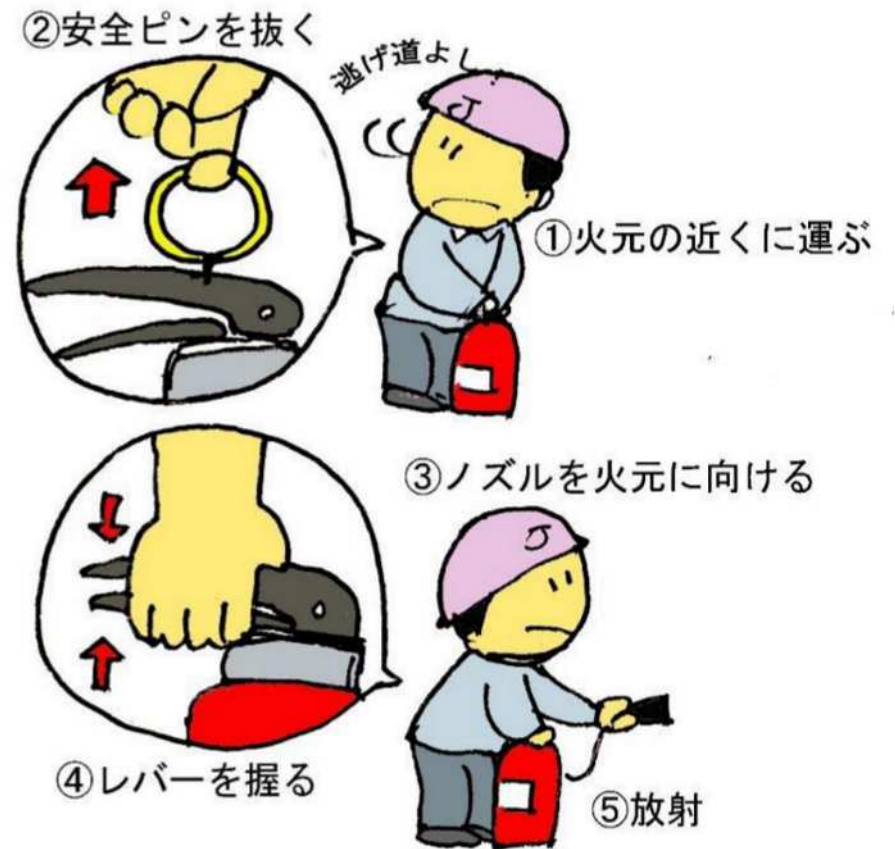
## **主な消防用設備**

消火器・自動火災報知設備・誘導灯など

# 消火器

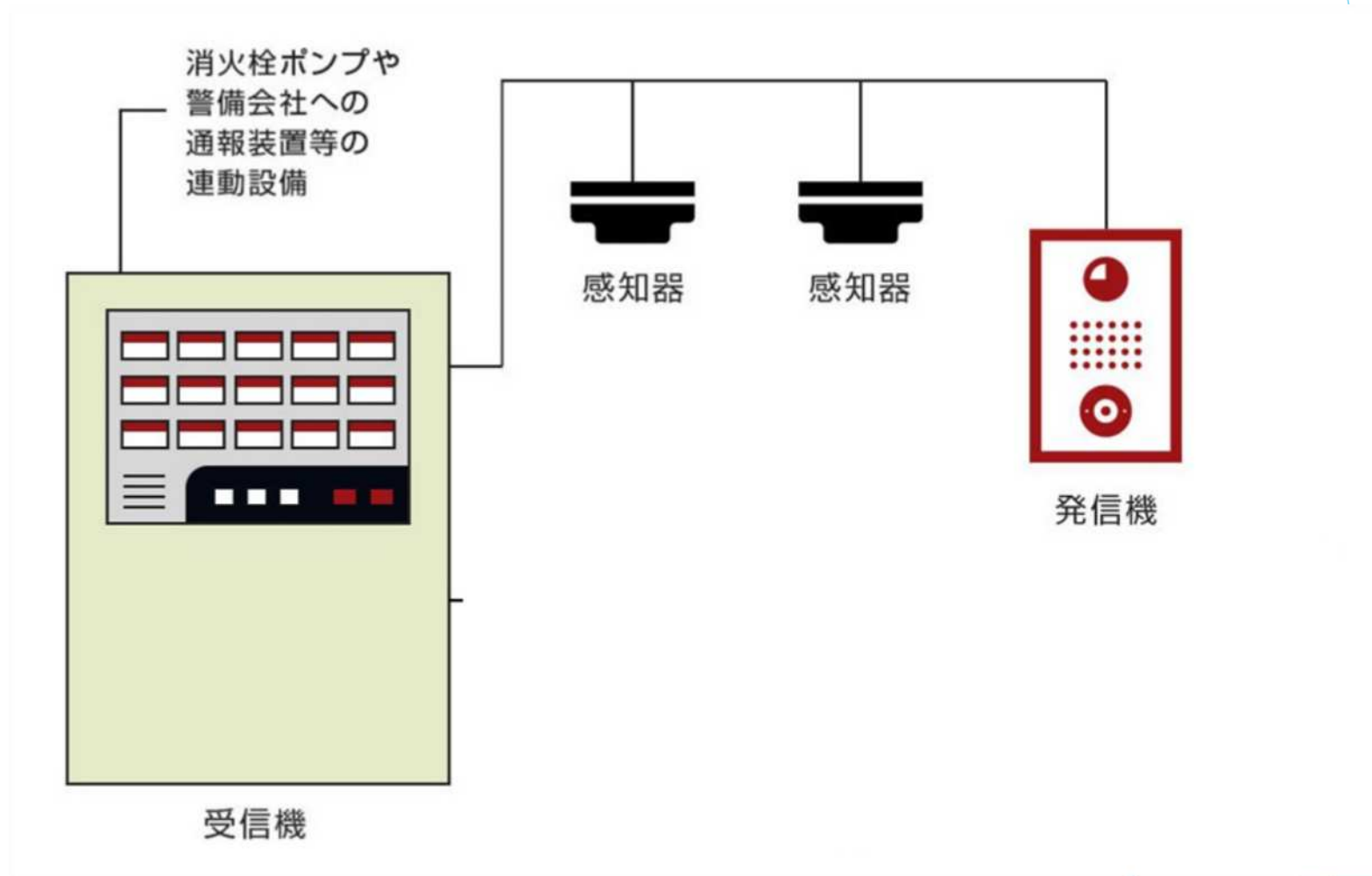


- 1 設置場所を確認しましょう
- 2 使用方法を覚えましょう
- 3 消火器の前には物を置かない！





# 自動火災報知設備

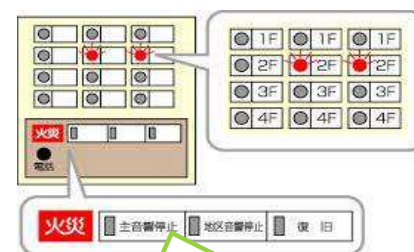


## 自動火災報知設備が発見した場合

※機械が発見したということは、かなり燃えています！



- 1 受信盤で火災の場所を確認する。  
(受信盤の表示と図面で場所を確認する)
- 2 場所を確認したら、2～3人で「消火器」を持って確認に行く。  
その他の人は、周りの人を落ち着かせる。  
「ただ今、場所を確認しています」など
- 3 実際に燃えていた場合、持って行った消火器で初期消火をする  
とともに、1人は火災の事実を周りに知らせる。  
「〇〇で火事だ」
- 4 消火・通報・避難の3つの行動に移る。



表示窓で  
場所を確認！

自分たちで発見した場合

※機械が反応する前に発見したということは、火災は初期です！

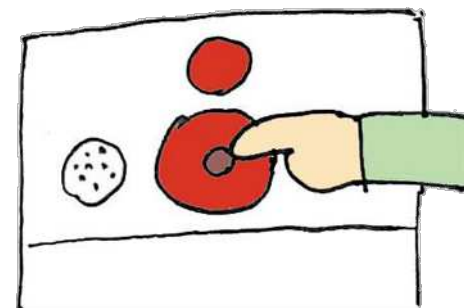
- 1 大きな声で「〇〇で火事だ！」と叫ぶとともに、近くの発信機のボタンを押し火事を周知する。また、消火器で初期消火を行う。

※声が聞こえなくても、ベルが鳴れば受信盤に表示が出るので、自動火災報知設備が発見した場合の動き方と同じでもよい。

- 2 消火・通報・避難の3つの行動に移る



ボタンを押す！



# 自動火災報知設備

## 自動火災報知設備のポイント

- **ベルが鳴ったら火災が起きたと思うこと！**
  - **ベルが鳴ったら素早く火災の行動に移ること！**
  - **ベルが鳴ったら疑わないこと！**
- 「まさか」の行動の遅れが被害を拡大させます**

# 誘導灯

## あなたの命を守る大切なシンボルです

もし災害に出くわしてしまい、避難しなければならなくなったとき、  
誘導灯はわたしたちの命を守る大切な味方となります！



扉の上や階段出口に設置されているもので  
その階や部屋からの最終口だよ、と表示  
しています。



廊下または通路上に設置されているもので  
避難経路の途中だよ、と表示しています。

# 誘導灯

あなたの命を守る大切なシンボルです

## 避難時に落ちついて行動するために心掛けること

- 避難の障害の無いよう、避難経路は整理整頓しましょう。
- 使用している建物の避難経路を把握しましょう。
- お出かけになった時も誘導灯を意識しましょう。



**常に誘導灯を意識するのが大切です！  
普段から避難経路を意識しましょう！！**

# 消防訓練を実施しよう



## なぜ消防訓練が必要なのでしょう

防火管理者の選任が必要な防火対象物については、年2回消火と避難訓練を、また年1回通報訓練を実施し消防署へ事前に自衛消防訓練通知書を届け出なければなりません。

万が一災害が起きた時、落ち着いて行動するために必要不可欠なものです。消火器の使用方法、119番通報の方法、利用者を安全に避難させるための行動などを普段からみなさんで確認することが、重要なポイントとなります。

また、防火管理者の選任の必要がなくても、当然、備えておくべきものです。

自分の財産は自ら守らなければなりません。最低年2回の消防訓練を実施する計画を立てて、いざ、という時に備えましょう。

# 消防訓練のやり方



## 1 消火訓練

- 消火器や屋内消火栓などの初期消火設備の使用方法を知る。
- 消火器などの設置場所を確認する。
- 火元を想定し、実際に消火器などを持って行き、消火のマネをする。  
(実際に使用すると大変なことになるので使用しない)

## 2 通報訓練

- 自分の事業所の住所、名称、電話番号を覚える。
- 実際に119番通報してみる。  
(訓練の5分前に一般電話(049-222-0700)に連絡していただければ、119番通報訓練が実施できます。)
- 119番通報は慌てず、職員からされた質問で分かっていることを伝える。  
(曖昧な回答は混乱するので分からないと答える)

## 3 避難訓練

- 避難経路を確認する。避難経路に障害になるものが置いてあった場合は、整理整頓する。
- 避難口はこちらです、「落ち着いて避難してください」、など実際に口に出してみる。





# 消防訓練の流れ



## 3 火災の発見（訓練開始） 「〇〇で火事だ」

↓  
消火・通報・避難誘導の体制を速やかにとる。

- ↓
- 消火班は消火器を持って出火場所へ初期消火の状況（成功、失敗）を速やかに伝達
  - 通報班は聞いた情報から速やかに119番通報（詳細な情報が不明な場合は火事の事実と住所・名称を伝えるだけで良い）
  - 誘導班は速やかにお客様を安全に避難させる。

## 4 最終的に避難場所に集まり、逃げ遅れの有無を確認するため点呼を取る。



# 着衣着火を防ぎましょう！



# 着衣着火を防ぐには

- 1 防災品を使用しましょう！（おすすめ）
- 2 火を扱うときは、袖や裾が広がっている服は避けましょう！
- 3 奥の火口に鍋等を かけるときは、手前の火口の炎を消しましょう！



防災物品ラベル



防災製品ラベル



着衣に**火**が付いたら？

絶対に走っちゃダメ！！

走ったら火の勢いが増すだけです！

やるのは・・・

## **Stop, Drop And Roll**

欧米では幼少期に必ず覚える命を守る行動です

**ぜひ、施設利用者の消防訓練で  
実施してみてください！！**

# Stop, Drop And Roll

## 止まれ、倒れろ、転がれ

もし洋服に火がついたら？

日常生活で起こったときに自分で対処できるように！

**Stop!** – 火の勢いを止め、

**Drop!** – 倒れることにより接地面を増やし、

**Roll!** – 転がることで消火する。

**Cover Your Face !** – 火の顔面に上がる  
火を防ぐ役割がある。

# Stop, Drop And Roll

## 止まれ！



・パニックになって走ると風が起こり、かえって火の勢いを大きくします。



## 転がれ！

・地面に倒れたまま左右に転がります。洋服についた火をもみ消しましょう。

② ドロップ  
倒れる



## 倒れろ！

・地面に倒れ、燃えているところを地面に押し付けるように



## まとめ

- 1 火気の取り扱いに注意しましょう
- 2 コンセント周りは定期的に点検をしましょう
- 3 消防用設備に精通しましょう
- 4 消防訓練を実施しましょう
- 5 事前・事後の対策をし、利用者の防火意識を向上させましょう

**火災予防とは  
火災を未然に防ぐこと  
火災の被害を  
最小限にすること**

安全・安心な街づくりに  
ご協力ください！



お問い合わせは、お気軽に  
お近くの消防署又は消防局まで